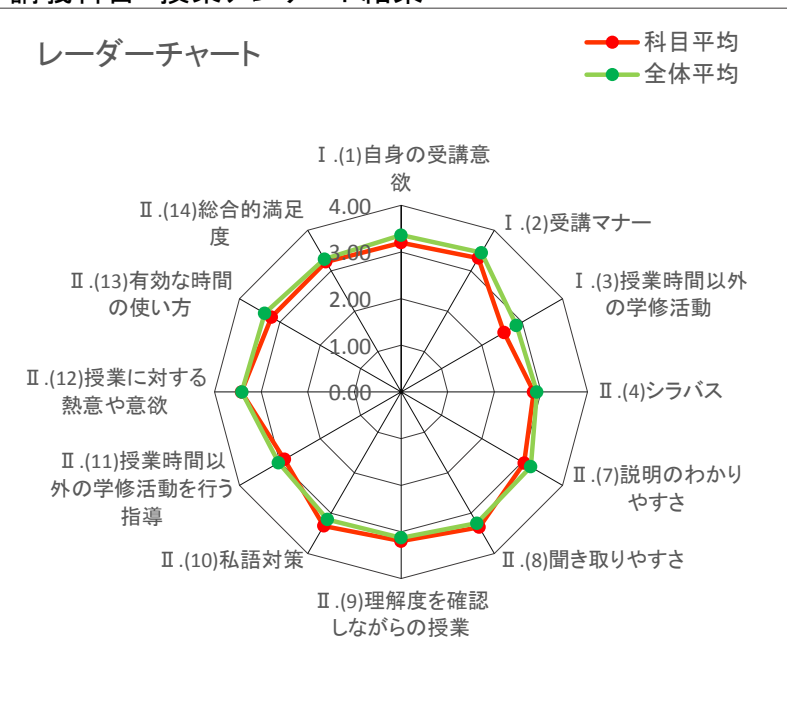
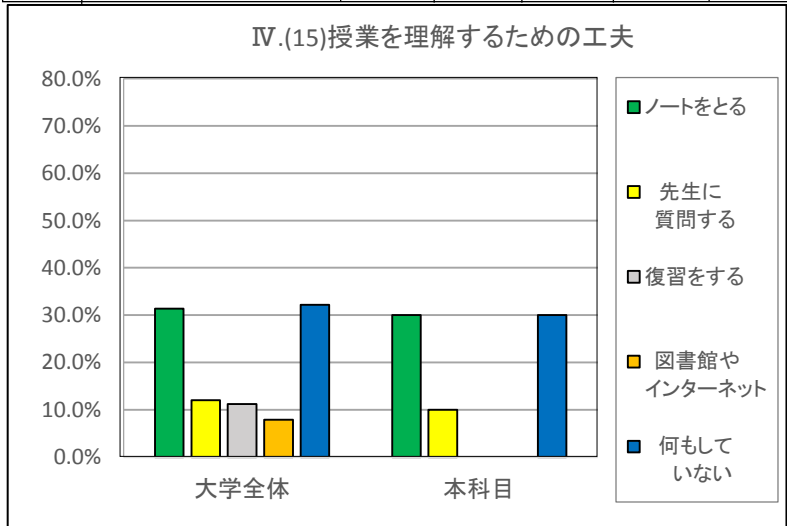


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.20	3.36
	I.(2)	3.32	3.45
	I.(3)	2.55	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.84	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.05	3.21
	II.(8)	3.35	3.25
	II.(9)	3.20	3.13
	II.(10)	3.32	3.16
	II.(11)	2.89	3.04
	II.(12)	3.42	3.41
	II.(13)	3.21	3.37
満足度	II.(14)	3.22	3.29

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	13107
科目名	運動・健康の理解
教員名	

①授業計画の達成度について  
 講義内容は、体育科教育法につながる内容とし、実習を取り入れながら授業を実施した。  
 体育の基本的性格・制度的条件・学習者・目標と内容・カリキュラム構成を中心に上げた。実習では「体づくりの運動」「ボールゲーム」を行った。また、スポーツの指導に関しての間上げを構築するため映画の鑑賞も行った。  
 学生の皆さんの興味・関心を引き出す内容の工夫が必要であったと考える

②授業の進め方について  
 講義・体育実習・映画鑑賞などの活動を行い、座学にのみの講義形態をとることはなかった。  
 また、感想・レポート・振り返りなどの文章を書いてもらい、一人ひとりの思いや考え方、知識の定着を知る取り組みを行った。  
 学生さん積極的な取り組みが見られ意識の高い日と、そうではない日があり、ムラのある授業となってしまった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 まずは、学生さんの興味関心に指導内容を如何に近づけていくかを工夫したいと自反する。できるだけ、活動のある授業展開を目指し、学生の皆さんが自分で課題を設定し、解決に取り組むことを期待したが、本授業では、受身に回った学生さんが多数見られたことに対して、学生さんの生の声を聞き取り、その場で改善していく授業であるよう心がけたい。  
 学生の皆さんへは、「やるべきことはやる」「自分が思っていることを実現したいのであれば、知識を増やすこと！」という言葉を送る。充実した学生生活を送っていただきたい。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.02	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.16	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.22	3.29
III.(14)		